

右京区役所 ☎861-1101 (代表)
〒616-8511 右京区太秦下刑部町12番地
<http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/>



区役所ホームページ、Facebook
常時更新中!

インターネットテレビ「右京コミュニティ」も
ぜひのぞいてみてね!



右京区役所 検索

右京区役所 Facebook



市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール

受付時間 午前8時～午後9時(年中無休)
☎ 661-3755、FAX 661-5855
電子メール (以下のホームページから)
パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>



8月21日、サンサ右京で打ち水大作戦が行われ、
周辺の気温が5度下がりました。一度おためしください。

右京区まちづくり支援制度 支援事業活動中!



「住まいの傷みの見分け方」
会議 NPO法人 古家改修ネットワーク

戦前から昭和にかけて建設された建物は独特の景観を形成しています。しかし、傷みの発見は難しく、気づいたときには手遅れになっている建物も少なくありません。

そのような建物に少しでも長く住み続けるために、古家を維持していくための知識を身につけていただくセミナーを開催します。

第一回の内容は、瓦工事協同組合の光本大助先生による「瓦のよしあしの見分け方」です。実物模型や多くの写真を使い、初めての方でも傷みの見分け方を学習できる内容となっています。

10月以降も毎月1回、土曜日に開催予定です。多くの方の参加をお待ちしています。

日時 9月21日(土)
午後6時～7時30分
会場 サンサ右京 5階大会議室

参加費 無料

定員 50名程度(要申込・先着順)

円 NPO法人 古家改修ネットワーク
☎ 882・8721
<http://www.kyoto.zaq.jp/reform/>



職人によるセミナー

NPO法人フラワー・サイコロジイ協会 支援事業
(NPO法人フラワー・サイコロジイ協会)

不登校・DV・介護などの相談に応じています。子どもから高齢者の方まで参加できる作業や生け花、アロマ、エステなど、楽しいプログラムも提供している、カルチャーサポートセンターです。

毎月最終日曜日は、様々なジャンルの専門家によるワークショップを行います。

①花と心の教室 いけばなでセルフセラピー

日時 9月29日(日)
午前11時～12時30分

参加費 千500円(材料費含む)

②学生がお子様様の勉強など見ます くぐくぐ

日時 毎週木・土曜日
午前10時～午後5時

参加費 500円

場所 ①②とも Tutti Casa みんなの家(山ノ内宮脇町15-1-108)

※そのほか、各種相談も行っています(要予約)。

円 Tutti Casa みんなの家
☎ 070・5555・4169



ワークショップの様子

うれしいニュース

◆水尾学区と京都嵯峨芸術大学 KURUKUのコラボが実現!愛宕山に看板設置

7月28日、京都嵯峨芸術大学の学生たちがデザインした看板が愛宕神社山道の花売り場に設置されました。とても温かみのある看板には、水尾自治会バスの時刻表などが記載され、千日詣りに訪れる人々の目を和ませました。

設置当日は、学生が地域の方々と一緒に看板を持って登り、設置作業を行いました。

KURUKUの学生代表の玉井さんは、「地域の方々が、作業中ずっと見守ってくれたことや、おにぎりをふるまってくれたことがとても嬉しかったです。活動を通して出会えた地域の方との一つ一つのつながりを、これからも大切にしていきたいです」と話します。

◆夏の思い出できたかな? 京北黒田地域と南太秦学区少年補導委員会がキャンプを通じて交流

7月27日と28日の2日間、黒田地域にて南太秦学区少年補導委員会主催で子どもたちのキャンプが行われました。

毎年恒例の夏のキャンプですが、今年は黒田地域に関わる都心部の若者グループが新たに企画・運営した一味違うプログラムを実施。これは、南太秦学区少年補導委員会の「ここしかできない体験をさせたい」という思いと、企画メンバーの「子どもたちにもっと黒田を知ってもらいたい」、「木や森にもっと触れてもらいたい」という思いが融合して実現。当日は、「山から切ってきた木を使って、何ができるかな?」というテーマのもと、黒田地域の方から、山と木についてのお話を

聞いて、「子どもたちは右京の美しい自然や温かい人々とのつながりを経験し、素敵な思い出をつくっていました。」



今回のプログラムを通して、子どもたちは右京の美しい自然や温かい人々とのつながりを経験し、素敵な思い出をつくっていました。



「まちから来た子どもや大人、地域の方にも楽しんでいただけて何よりです」と笑顔で話す企画メンバーも感無量です。

発見! 自治会・町内会のス・テ・キ

新たな集会所で自治会活動リニール!住民同士のつながりの再構築を目指す嵯峨学区角倉町自治会

角倉了以ゆかりの地として明治時代の頃から受け継がれてきた角倉町自治会には、130世帯約400名が加入。集会所の建て替えをきっかけに新たな自治会活動に取り組み藤井会長にお話を伺いました。

■集会所の建て替えについて教えてください。

老朽化と使いにくさ、耐震の問題などがあり、一昨年建て替えが決定。集会所管理委員会の積立金と市からの補助金を活用し、「昨年からの具体的な検討に入り、今年5月に起工、8月に竣工しました。設計は、町内に住む設計士に手掛けてもらいました。垣根を設けず、縁側を広く設けて、誰でも出入り自由なゆくりとお話ができる場になればとの思いから、「和楽館」と名付けました。

土地の相続権の問題など難しいこともありましたが、皆さんに喜んでもらえるものができて良かったです。

■どんな自治会にしたいですか。

私が子どもの時、運動会やお祭りはみんなで盛り上がりつつ楽しいものでした。しかし、最近では若い方の自治会離れが進んでいると思います。学区の行事や地蔵盆などの伝統行事といった古き良き自治会活動は生かしつつ、多世代が参加できる「自治会発信型のイベント」を角倉町から発信していきたいです。そして、自治会の方はもちろん、周辺地域とのネットワークも築いていきたいと考えています。

■最後に一言!

新集会所を拠点に発信型の自治会活動をスタートします。ぜひ、多くの方が参加して一緒に新しいコミュニティを築きましょう!



藤井博
角倉町自治会長